ギニア月報（２０２６年９月）

主な出来事

【内政】

- 5 日、2021 年 9 月 5 日の出来事から 5 周年を機に、ドゥンブヤ大統領は、記憶、国民的結束、同国の社会経済的未来に焦点を当てたメッセージを発表。
- 16 日、通信高等委員会（HAC）は、倫理的・職業的義務の重大な違反を理由に Jeune Afrique のギニア常駐特派員であるママドゥ・ディアオ・バリー氏の取材資格取消を決定。
- 17 日、HAC は、France24 のキャスターが同国の国家元首を「クーデターで権力を掌握した大統領」と表現したことを受け、同国全土におけるフランス 24 の放送を即時禁止。
- 25 日、シディア・トゥーレ共和勢力同盟(UFR)党首がパリの病院で死去。

【外交】

- 9 日、クヤテ外務・アフリカ統合・在外自国民大臣は同国の外交政策文書を発表。
- 23 日、ドゥンブヤ大統領は第 81 回国連総会に出席し、一般討論演説を実施。

【経済（開発協力含む）】

- 7 日、Nimba Mining Company(NMC)及び Glencore 社は 3 億ドル以上の事前融資および NMC のボーキサイトの 5 年間にわたる販売を盛り込んだ商業協定に署名。
- 9 日、ギニア政府は、鉱物資源、特にシマンドゥ・プロジェクトから得られる収益の一部を運用することを目的とした「ギニア・ソブリン・ファンド（FSG)」の基本方針を発表。
- 21 日、Compagnie du TransGuinéen (CTG)と米国の Wabtec グループは、約 650Km に渡る鉄道に配備される機関車の運用および保守のため、10 年以上にわたる総額 7 億ドルを超えるサービス契約に署名。
- 25 日、「シマンドゥ 2040」プログラムのプロジェクト資金調達のために、ギニア政府は、2.5 兆ギニアフランを調達することを目的とした国債発行を開始。

1　内政

・　2 日、ケイタ国民教育・識字・技術教育・職業訓練大臣は、加藤隆一駐ギニ

ア日本国大使と会談を実施。

- 4 日、8 月末に発生したダル・エス・サラムのゴミ集積場崩壊の犠牲者のための国葬を実施。
- 5 日、2021 年 9 月 5 日の出来事から 5 周年を機に、ドゥンブヤ大統領は、記憶、国民的結束、同国の社会経済的未来に焦点を当てたメッセージを発表。
- 10 日、経済・金融犯罪裁判所(CRIEF)の特別検察官は、海外での治療のため、イブラヒマ・カソリ・フォファナ元首相およびアマドゥ・ダマロ・カマラ元国民議会議長に対する出国禁止措置の解除を請求。
- 10 日、使い捨てプラスチックを禁止する 2024 年 9 月 21 日付の大統領令の適用細則を定めた共同政令に署名し、プラスチック廃棄物有効利用国家委員会の設置を規定。
- 15 日、サル保健・公衆衛生大臣は、医療分野の人員体制を強化するため、ドゥンブヤ大統領の指示に基づき、2027 年に 7,000 人の医療従事者を採用すると発表。
- 16 日、通信高等委員会（HAC）は、倫理的・職業的義務の重大な違反を理由に Jeune Afrique のギニア常駐特派員であるママドゥ・ディアオ・バリー氏の取材資格取消を決定。
- 17 日、HAC は、France24 のキャスターが同国の国家元首を「クーデターで権力を掌握した大統領」と表現したことを受け、同国全土におけるフランス 24 の放送を即時禁止。
- 25 日、シディア・トゥーレ共和勢力同盟(UFR)党首がパリの病院で死去。

２　外交

- 2 日、ガンビアのバロー大統領がコナクリを公式訪問し、ドゥンブヤ大統領と会談を実施。
- 8 日、モロッコのブリタ外務大臣率いる代表団が来訪し、ドゥンブヤ大統領と会談を実施。
- 9 日、シエラレオネのジャロ副大統領が来訪し、バー首相と会談を実施。
- 9 日、クヤテ外務・アフリカ統合・在外自国民大臣は同国の外交政策文書を発表。
- 13 日、ドゥンブヤ大統領はコートジボワールを公式訪問し、ワタラ大統領と会談を実施
- 17 日、RUSAL を含む、ポポフ駐ギニアロシア大使率いる代表団が、ドゥンブヤ大統領と会談を実施。
- 22 日、国連総会出席のためにニューヨークを訪問中のドゥンブヤ大統領は、ルーマニアのダン大統領と会談を実施。

・ 22 日、ドゥンブヤ大統領は、米国のトランプ大統領と非公開の会談を実施。
・ 23 日、ドゥンブヤ大統領は第 81 回国連総会に出席し、一般討論演説を実施。
・ 23 日、ドゥンブヤ大統領は、ニューヨークを訪問中のシエラレオネのビオ大統領と会談を実施。
・ 23 日、ドゥンブヤ大統領は、米国のアラブ・中東・アフリカ担当上級顧問であるマサド・ファレス・ブーロス氏と会談を実施。
・ 24 日、ドゥンブヤ大統領は、グテーレス国連事務総長と会談を実施。

３　経済（経済協力含む）

・ 8 月 31 日-9 月 1 日、ナベ計画・国際協力・開発大臣率いるギニア代表団がモントリオールで開催された第 10 回アフリカ・エクスパンション・フォーラムに参加し、国家開発計画「シマンドゥ 2040」のプレゼンテーションを実施。
・ 3 日、バリー畜産大臣は、畜産分野における両国間の協力強化の一環として、チェコ・ギニア商工会議所の代表団と意見交換を実施。
・ 7 日、中国・ギニア友好病院は、医療提供、技術移転、および両国間の科学・保健分野における協力を目的とした、24 名の医療専門家で構成される第 32 回中国医療団を迎え入れ。
・ 7 日、西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）は、単一通貨プロジェクトの進捗状況に焦点を当てたテレビ会議を開催。
・ 7 日、Nimba Mining Company(NMC)及び Glencore 社は 3 億ドル以上の事前融資および NMC のボーキサイトの 5 年間にわたる販売を盛り込んだ商業協定に署名。
・ 8 日、SimFer は、モレバヤ港の主要設備の稼働を開始。
・ 8 日、ギニア及びモロッコ政府は、第 8 回合同委員会開催に際し、農業、エネルギー、保健、司法、教育、職業訓練、交通、港湾インフラ、観光、文化といった戦略的分野での 25 件の協力協定に署名。
・ 8 日、ナベ計画・国際協力・開発大臣は、エネルギープロジェクトに係るイスラム開発銀行の評価ミッションと面談を実施。
・ 9 日、ギニア政府は、鉱物資源、特にシマンドゥ・プロジェクトから得られる収益の一部を運用することを目的とした「ギニア・ソブリン・ファンド（FSG)」の基本方針を発表。
・ 10 日、ギニア政府及び ECOWAS 投資開発銀行（BIDC）は、道路、保健、エネルギー分野を対象とした、総額 2 億 6,950 万ユーロの 3 件の融資協定に署名。
・ 21 日、Compagnie du TransGuinéen (CTG)と米国の Wabtec グループは、約

650Km に渡る鉄道に配備される機関車の運用および保守のため、10 年以上にわたる総額 7 億ドルを超えるサービス契約に署名。

・ 25 日、「シマンドゥ 2040」プログラムのプロジェクト資金調達のために、ギニア政府は、2.5 兆ギニアフランを調達することを目的とした国債発行を開始。

（了）